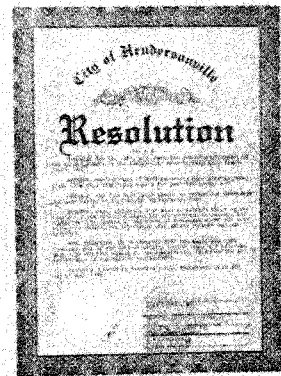


米国・テネシー州

青年文化使節団との交流

本場の歌と 踊りを披露！

▼ヘンダーソンビル
市長からの親書



米国、テネシー州の青年文化使節団が五月二十二日来訪し、都留文科大学生、市内青年層を主体に、音楽やダンスを通して交流を深めました。

一行は、テネシー州立大の演劇音楽部で舞踊や音楽を学んでいる学生を中心とした二十九人。都留市がヘンダーソンビル市と姉妹都市であることからテネシー州の紹介を兼ねるとともに、ヘンダーソン

ビル市長から姉妹都市締結二周年を記念しての親書をたずさえ、来市したものです。文化会館で正午から歓迎レセプション、三時から六時まで交流会を行いました。くしくも今年は国際青年年にあたり、都留大生、市内中



学生、高校生を含めた市民三百名の観客の前で、御嶽ばやし保存会のメンバーが踊りと太鼓を、都留文科大マンドリンクラブの学生が演奏を披露し使節団が約二時間、カントリ・ミュージック、ポピュラーなどテネシーゆかりの曲を歌と踊りで紹介し、音楽を通しての文化交流を図りました。使節団はこの日、市民の家（十五家庭）に宿泊し、家庭を通しての交流も図り、二十三日都留市を離れました。

なお、この交流会は、都留・ヘンダーソンビル友好委員会において開催したものであります。姉妹都市との友好親善を基調に、今後共永く交流を進めていくため、当友好委員会では、広く市民の皆様にご趣旨にご賛同いただき入会されますよう案内しております。入会の申し込み方法など、詳細につきましては、市役所総務課（内線二〇三）にお問い合わせ下さい。

し、見事大会新記録で優勝しました。

目の不自由な長田さんは、六十メートル先のゴールで打ち鳴らされている鐘の音を目掛けて全力疾走し、28秒7の堂々たる記録で、本市に初の実金メダルをもたらしました。また、長田さんはソフトボール投げにも出場し、これもまた大会新記録で入賞しました。

61年には、かいじ国体開催後に、身障者の国体とも言われている第22回全国身体障害者スポーツ大会（ふれあいのかいじ大会）が本県において開催されることになっていきます。選手の方々のますますの活躍が期待されます。



長田美智子さん 大会新で金メダル！ 第21回身スポ大会

去る五月十九日、県営グラウンドを中心に第21回山梨県身体障害者スポーツ大会が開催されました。約二千人の観衆が見守る中、本市より参加した長田美智子さんは、視覚障害者六十メートル競争に出場

今月のふるさと カレンダー

七月の写真説明

甲斐絹の里……この写真は、富士吉田市にある山梨県繊維工業試験場からお借りしたものです。

都留市は古くから甲斐絹の産地として全国に知られ、

絵甲斐絹から縞甲斐絹になり、現在は、婚礼用甲州ドンス、夜具地、座布団地など甲州織として、全国各地に出荷されております。

織機は、地織（じばた）いざり機ともいう）から始まり、投杆（なげび）明治中頃には引杆（ひきび）になり、ジャカード機械の応用など改良をかさね、手織機から力織機へと移り変わってきました。